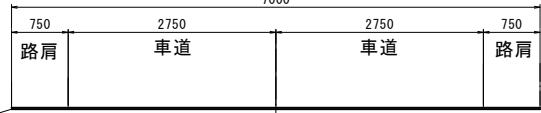
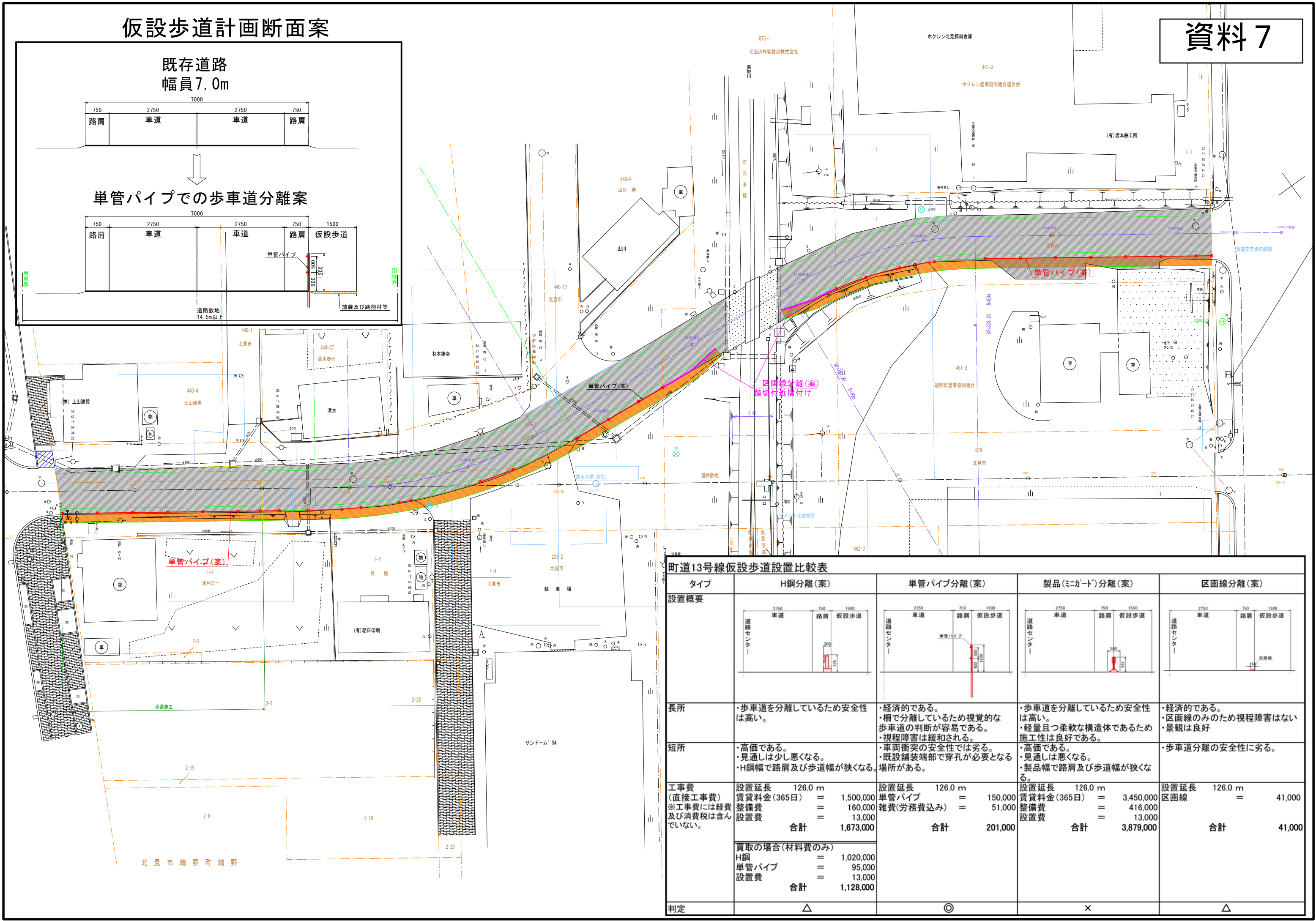
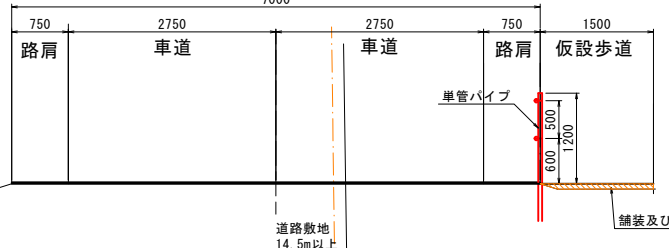


仮設歩道計画断面案

既存道路
幅員7.0m



単管パイプでの歩車道分離案



町道13号線仮設歩道設置比較表

タイプ	H鋼分離(案)	単管パイプ分離(案)	製品(ミニカート)分離(案)	区画線分離(案)
設置概要				
長所	・歩車道を分離しているため安全性は高い。	・経済的である。 ・柵で分離しているため視覚的な歩車道の判断が容易である。 ・視程障害は緩和される。	・歩車道を分離しているため安全性は高い。 ・区画線のみのため視程障害はない ・軽量且つ柔軟な構造体であるため施工性は良好である。	・経済的である。 ・区画線のみのため視程障害はない ・景観は良好
短所	・高価である。 ・見通しは少し悪くなる。 ・H鋼幅で路肩及び歩道幅が狭くなる。	・車両衝突の安全性では劣る。 ・既設舗装端部で穿孔が必要となる場所がある。	・高価である。 ・見通しは悪くなる。 ・製品幅で路肩及び歩道幅が狭くなる。	・歩車道分離の安全性に劣る。
工事費 (直接工事費) ※工事費には経費及び消費税は含んでいない。	設置延長 126.0 m 賃貸料金(365日) = 1,500,000 整備費 = 160,000 設置費 = 13,000 合計 1,673,000	設置延長 126.0 m 単管パイプ = 150,000 雑費(労務費込み) = 51,000 合計 201,000	設置延長 126.0 m 賃貸料金(365日) = 3,450,000 整備費 = 416,000 設置費 = 13,000 合計 3,879,000	設置延長 126.0 m 区画線 = 41,000 合計 41,000
買取の場合(材料費のみ)	H鋼 = 1,020,000 単管パイプ = 95,000 設置費 = 13,000 合計 1,128,000			
判定	△	◎	×	△